

2020年7月17日

荏田南2丁目の皆様へ
KP(神奈川精神医療人権センター)便り⑩

私は横浜市内の就労移行支援事業所に通う KP メンバーの寺田幸太です。私は小学校から高校卒業まで、ずっといじめられていました。

中学2年の夏には、廊下で複数の生徒に羽交い絞めにされ、逃げるために階段を降りようとしたら、背中を後ろから蹴られて突き落とされました。このいじめで、足の骨を粉砕する骨折を負いました。

当時は喘息を患っていたので、手術では全身麻酔を十分にかけることができず、痛くて苦しくて本当に嫌になりました。ほかにもリンチやカバン持ち、「死ね」「うざい」「自殺しろ」といった暴言など、様々ないじめを毎日のように受け続けてきました。

その結果、感情の起伏がなくなり、ぼーっとしてしまふことが増えました。やがて、誰かに追われているような恐怖を常に感じるようになりました。このような状態で精神科を受診すると、「統合失調症」と診断されました。

私の精神疾患は、いじめによって引き起こされたのです。私のような苦しい経験をしている元いじめられっ子の患者はととても多いと思います。だからこそ、都筑区の住宅街に立つヘイト幟旗を見て本当に驚きました。なぜ被害者である私たちを加害者扱いするのか、住民の方々の気持ちを理解できなかったからです。

私たちは暴力の加害者ではなく、被害者です。それなのになぜ、私たちを危険視するのですか。健常者としてふつうに暮らし、ふつうに働いている元いじめっ子たちの方が、私は危険だと思えてなりません。

私たちを危険視する発想は、いじめっ子たちがやってきたような卑劣な弱い者いじめに等しいと思います。私たちをこれ以上いじめないでください。

神奈川精神医療人権センター (KP)
携帯 080-7295-8236 (毎週月から金 13時~16時)